

ス マ

分類: スズキ目 サバ亜目 サバ科
学名: *Euthynnus affinis*
英名: Little tuna

本州中部以南から台湾及西南太平洋、ハワイにかけて分布するが、日本海には少い。外海を回遊することなく、群れをつくることもなく、沿岸性で島から島へ移動するときは上層に浮上しないで中層を游泳する。急激な潮流の流れる岬の突角附近に多く生息し、離島、岩礁、瀬などに好んで集まる。カツオに比べ体がやや太めで歯は両顎のみならず、口蓋骨にもある、体色は背部が黒青色で腹部は銀白色で体側には縦縞は見られず暗色針走帯がある。胸鰭の下に数ヶの黒点があるので他属との識別は容易である。和名のヤイトは、この黒点に由来する、産卵期は春から夏にかけてで、幼魚は体が細長く、顕著な8本以上の横縞がある。肉はやや黒っぽいがやわらかく刺身、塩焼にして美味である。全長1m



RÉPUBLIQUE DU SÉNÉGAL



POISSONS DE PÊCHE CÔTIÈRE
PREMIER JOUR D'ÉMISSION



インドネシア
1963. 4. 6

6.00 マナガツオ
スズキ目イボダイ亜目マナガツオ科
Pampus argentous
silver pomfret

3.00 ゴマフエダイ
スズキ目スズキ亜目フエダイ科
Lutjanus argentimaculatus
Snapper

1.50 スマ
スズキ目サバ亜目サバ科
Euthynnus affinis
Little tuna

1.00 テナガエビ
十脚目長尾亜目テナガエビ科(甲殻類)
Macrobrachium nipponeni nes